

第三十四号様式 (第十六条関係)

軽自動車税(種別割)廃車申告書兼標識返納書
(原動機付自転車・小型特殊自動車)

令和 年 月 日

(あて先) 姫路市長

次のとおり申告及び標識の返納をします。

申告の理由	種 別	
<input type="checkbox"/> 廃車 <input type="checkbox"/> 譲渡 <input type="checkbox"/> 転出 <input type="checkbox"/> 盗難・紛失 <input type="checkbox"/> その他 ()	原動機付自転車 <input type="checkbox"/> 第一種 一般原付 (総排気量50cc又は定格出力0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第一種 一般原付 (総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下) <input type="checkbox"/> 第一種 特定原付(定格出力0.6kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 乙 (総排気量90cc又は定格出力0.8kW以下) <input type="checkbox"/> 第二種 甲 (総排気量125cc又は定格出力1.0kW以下) <input type="checkbox"/> ミニカー	小型特殊自動車 <input type="checkbox"/> 農耕作業用 <input type="checkbox"/> その他 ()

標識番号	姫路市
廃車年月日	令和 年 月 日

納税(申告)義務者	住所又は所在地	〒□□□ - □□□□ ※現在の住民票上の住所を記入してください。		主たる定置場	1. 左記所有者の住所又は所在地と同じ				
	(フリガナ)氏名又は名称			2. 姫路市				
	生年月日	大・昭・平 年 月 日	電話番号	() -	車 名	型式及び年式	原動機の型式番号		
	住所又は所在地	〒□□□ - □□□□ <input type="checkbox"/> 所有者と同じ(使用者欄記入不要)		車台番号	型式認定番号	総排気量又は定格出力 cc kW			
使用者	(フリガナ)氏名又は名称		長さ※1	幅※1	最高速度※1	最高出力※2		
	生年月日	大・昭・平 年 月 日	電話番号	() -	cm	cm	km/h	kW	
届出者	住所又は所在地	<input type="checkbox"/> 所有者と同じ(届出者欄記入不要)		標識返納の有無	標識返納がない場合、その理由				
	(フリガナ)氏名又は名称		1. 有	イ. 盗難 ロ. 紛失 ハ. 破損 ニ. その他() 具体的に:				
	生年月日	大・昭・平 年 月 日	電話番号	() -	2. 無				
	住所又は所在地	<input type="checkbox"/> 所有者と同じ(届出者欄記入不要)		盗難届出	届出年月日	令和 年 月 日	被害年月日	令和 年 月 日	
	(フリガナ)氏名又は名称			届出警察署	警察署		交番・駐在所	
	電話番号	() -			受理番号				

確認 免・パ・在・住B・保・医
マイ・その他 ()

入力処理印	入力
	確認

※1 第一種 特定原付の場合のみ
 ※2 第一種 一般原付(総排気量125cc以下かつ最高出力4.0kW以下)の場合のみ

第34号様式記載要領

1. この申告書は、原動機付自転車又は小型特殊自動車1台ごとに作成すること。
2. 「申告の理由」及び「種別」の各欄には、該当箇所の口(チェック欄)に✓を記入すること。
なお、「種別」の欄については、該当箇所の口(チェック欄)のいずれか1つのみに✓を記入すること。
3. 「廃車年月日」の欄には、納税義務が消滅した年月日を記入すること。
4. 「納税(申告)義務者」の欄の「住所又は所在地」には、都道府県、市町村名、番地まで記入すること。
また、納税義務者等がビル等に入居している場合又は同居人である場合には、ビル等の名称のほか棟号数、室番号又は〇〇様方のように、郵便物が確実に届くように記入すること。
5. 「納税(申告)義務者」の欄には、所有者と使用者が同じである場合は、所有者欄のみを記入すること。
6. 「届出者」の欄には、申告に来た者が納税義務者以外の者である場合に記入すること。
7. 「主たる定置場」の欄には、申告の際の主たる定置場が所有者の住所又は所在地と同じである場合については1を○で囲み、それ以外の場合については2の欄にその住所又は所在地を具体的に記入すること。
8. 「長さ」、「幅」及び「最高速度」の欄は、特定原付の申告時のみ記入すること。
9. 「最高出力」の欄は、総排気量125CC以下かつ最高出力4.0kW以下の一般原付の申告時のみ記入すること。
10. 「標識返納の有無」の欄には、標識の返納が有る場合には1を、また、標識の返納のない場合には2を○で囲むこと。なお、標識の返納のない場合については、その理由に該当する項目を○で囲み、具体的な理由を〔 〕内に記入すること。
11. 「盗難届出」の欄には、「申告の理由」又は「標識返納がない場合、その理由」欄において「盗難」に該当する場合に、その盗難を届出た年月日、被害年月日、届出警察署及び受理番号を記入すること。